

「脇本小学校の山田楽」伝承活動の取組

1 学校名

阿久根市立脇本小学校

2 学年・人数

5・6年生 (計64人)

3 日時・場所

(1) 練習の日時 (場所)

8月中旬～下旬 (10日間) 16:00～ 小学校体育館

9月上旬～下旬 (7日間) 15:20～16:05 小学校体育館

(2) 発表の日時 (場所)

10月初旬 15:00～ 打ちならし (宮崎神社)

10月初旬 11:30～ 秋季大運動会 (脇本小学校運動場)

10月下旬 午前 校区運動会 (脇本地区公民館)

11月初旬 午前 出水麓祭り (出水小学校)

12月中旬 午前 市産業祭 (市総合体育館)

2月中旬 10:00～ 校区内高齢者施設「あいわの里」慰問

7月下旬 午前 阿久根市みどこい祭り (市中央公園ステージ)

※ その他市内外の祭り等に招待参加をしている。

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

脇本小学校 山田楽 (やまだかく)

(2) 由来

「山田楽」は、今から400年ほど前、島津家の家臣だった「山田昌巖」が関ヶ原の戦いに出陣する際、互いの士気を高めると共に、勝利を祈願して奉納した勇壮華麗な踊りである。

脇本小学校では、次第に衰退していくこの踊りを何とか継承したいという校区民の願いに応えるため、昭和59年以来、小学校5年生が伝承し、今日に至っている。

(3) 構成等

山田楽の楽器と衣装の構成は、以下の通りである。

- ・ 鏡 鉦…黒がすり、白半ズボン、紅白たすき、黒の手甲脚絆、紫の頭巾、わらじ
- ・ すり鉦…黒の長がすり、飾り笠、ぞうり、印籠
- ・ 大太鼓…白地のゆかた、白半ズボン、たすき、飾り笠、黒の手甲脚絆、わらじ
- ・ 小太鼓…はんでん、白半ズボン、手ぬぐい、水色の手甲脚絆、わらじ、背子

また、芸態は、以下の4種類から構成されています。

- ・ くずし…戦いの様子を表す。
- ・ あげ鉦…勝利を味方に知らせる合図を表す。
- ・ 横とび…勝利の喜びを表す。
- ・ 山とび…戦いに勝って帰る様子を表す。

5 保存会や地域との連携の具体

脇本小学校「山田楽」の保存会事務局は、脇本小学校内にある。そのため、全保護者が賛助会員となり、会費（年間300円）を集めることで会の運営をしている。

指導者は、地域の有志者2人が中心となり、必要に応じて学校職員も指導する。練習時の補助や市内外の祭りの送迎等については、保存会育成会の保護者が全面的に支援している。

また、地域の行事（校区の運動会など）に参加したり、地域の高齢者施設を慰問したりするなど地域の活性化にも一役かっている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

- (1) 学校教育の中に地域の伝統文化継承を位置付け、郷土を愛し、郷土を大切にする心を培うようにしている。
- (2) 活動を始めて29年という歴史もあり、地域住民の愛着も深く、下学年の児童にとって「山田楽」を踊れることは憧れであり、当該児童にとって自慢できる活動になっている。
- (3) 平成9年度には、(旧)文部省の「伝統文化教育推進校」の指定を受け、豊かな人間性を培い、郷土教育の一環として学校生活に変化と希望を持たせ、学校と地域の活性化を図るために、「伝統文化教育推進委員会」を組織して取り組んできた。
- (4) 薩摩の「郷中教育」の精神を受け継ぎ、先輩から後輩への指導という形をとっていることも特徴的である。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



夏休みの練習風景



宮崎神社への打ちならし



出水麓祭り出演



阿久根みどこい祭り出演

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

夏休み、いよいよぼくたち5年生の出番です。ぼくは、脇本小学校で踊り継がれている伝統芸能「山田楽」で「めはち」という役目を担当しました。「めはち」は山田楽の中でも最も重要な役割で、みんなの先頭と最後尾を務める肝心のポジションです。みんなをしっかりと引っ張って、踊りをまとめていかなければなりません。そんな「めはち」に選ばれて、うれしかったし、先輩にならって頑張らないといけないなど責任の重さも感じました。実際踊ってみると、見た目以上に難しく覚えるのがとても大変でした。でも、みんなと力を合わせてうまく踊れた時は、最高に気持ちいいです。山田楽を踊るたびに、保護者や地域の人から「さすが5年生。上手だね」とか「毎年楽しみにしているんだよ。ありがとう。」と言われるので、自信も出てきたし、やってよかったなと思いました。(5年男児)

去年の夏休みから、私にとって待ちに待った山田楽練習が始まりました。最初、鉦を持った時、思った以上に重たくて私は、こんな重い鉦を15分も持ってたくことは、できるのかなあと思いました。師匠や先輩に教えてもらい、毎日少しずつ上手になっていきました。うでが痛くて練習に行きたくない日もありましたが、早くお祭りに行っておくさんの人に見てもらいたいなと思ったら、がんばることができました。これからも、脇本小学校の山田楽が続いてほしいです。(6年女児)

伝統を受け継ぎ、29年目の山田楽。今まで受け継いできたバトンを今年も5年生が受け継いでいます。10日間の夏休み練習では、師匠や6年生に教わりながら、一生懸命、山跳びや鐘・太鼓のリズムを覚えめました。そして、宮崎神社での「打ちならし」をしたり、運動会では50歳組の方々の前で披露をしたりしました。この山田楽の伝承活動を通し、普段の学校生活だけでは味わうことのできない、一つのものをみんなで作り上げてく貴重な体験をすることができています。これからも、この素晴らしい脇本小学校の伝統を子どもたちと一緒に守っていききたいです。(教職員)